

基山町

No.82

議会だより

令和4年第2回定例会

6月議会

基山町議会 検索

町議会ホームページ

<https://www.town.kiyama.lg.jp/gikai/>

lg.jp/gikai/



【特集】

議会って何してるの？

特集	2
賛否表	4
補正予算	5
議案審議	6
一般質問	8
所管事務調査	16

令和4年7月31日発行

議会は町民と共に！

議員は、選挙で町民の負託を受け議会へと送っていただきます。

そこで、町民の困りごとや意見を聴いて、町民福祉の向上や安心安全で住みよいまちづくりと、開かれた議会を目指しています。

まちづくりは
町民が主役！

町民の声を聴きます。
議会と語ろう会、議会だより、録画配信、議会ホームページなどで説明や情報を発信します。

町 民

役 場

(首長・行政)

議 会

(町議会議員)

主な仕事

- ・ 議会に議案を出します
- ・ 予算を作って使います
- ・ 地方税の徴収をします

主な仕事

- ・ 本会議で議案の議決をします
- ・ 行政の仕事をチェックします
- ・ 町民の意見を提案します

改正

選挙運動経費の負担軽減

公職選挙法の一部改正の法律が令和2年6月に公布され、同年12月12日から施行されました。制度の改正は、候補者の選挙運動経費の負担軽減を図ることで、より多くの立候補者の意欲を高め、立候補しやすい環境整備を目指すために、選挙費用の一部を公費負担する制度です。また、新たに町村議会議員選挙の立候補者には供託金が必要になります。

令和5年4月の基山町議会議員選挙の際は、制度の利用が可能となります。

選挙公営による改正

※詳しくは、基山町選挙管理委員会へ問い合わせ下さい。

区 分	選挙運動用自動車	選挙用ポスター	運動用ビラ	供託金額
町長選挙	× ➡ ○	× ➡ ○	× ➡ ○	50万円
町議会議員選挙	× ➡ ○	× ➡ ○	領布不可× ➡ 領布解禁○	供託金導入 15万円

議会って 何してるの？

議会や議員は、何をしているのか見えにくいなどの声を聞きます。

そこで、1年間の主な議会の活動や町民、執行部、議会の関係などを特集に取り上げてみました。

議会サイクル

3月議会 当初予算審査

まだまだあります！

臨時会

全員協議会（毎月）

議会だより発行

議会改革特別委員会

議員研修会

所管事務調査

- ・総務文教常任委員会
- ・厚生産業常任委員会

6月議会

所管事務調査

皆さんの声を
聞かせて下さい

9月議会 決算審査

12月議会

所管事務調査

所管事務調査

行政視察

子ども議会

町議会と語ろう会

所管事務調査

2つの常任委員会は、所管する課に属する事務を、現地調査や資料を基に詳しく聞き取り、質疑、意見を行いチェックします。

行政視察

町の課題などについて、先進的な取り組みをしている自治体へ視察に赴き、研修した成果を、一般質問等で提案していきます。



町議会と語ろう会

第2回定例会（6月3日～10日）の採決結果

全会一致で可決した議案

議案番号	議 案 名	議案番号	議 案 名
同意 1	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	承認 3	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度一般会計補正予算（第15号））
同意 2	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	議案19	令和4年度一般会計補正予算（第1号）
議案17	下工4補第2号宝満川処理区第2污水幹線管路築造工事（2工区）請負契約について	議案20	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議案18	佐賀県市町総合事務組合規約の変更について	議案21	令和4年度下水道事業会計補正予算（第1号）
承認 1	専決処分の承認を求めることについて（税条例等の一部を改正する条例）		

賛否が分かれた議案

○ 賛成 × 反対 欠 欠席 退 退席 除 除斥 議長は採決に加わりません

議案番号	議 案 名	賛 否 表											
		1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	
		中村 絵理	天本 勉	松石 健児	大久保由美子	末次 明	栗野 久明	河野 保久	鳥飼 勝美	大山 勝代	品川 義則	松石 信男	
承認 2	専決処分の承認を求めることについて（国民健康保険条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	

新型コロナ対応で政策提言

基山町議会は、国の地方創生臨時交付金を受けて町が6月定例会に提出する事業について、議会として政策提言を行いました。町からの回答は以下の通りです。

提言 家庭用蓄電池購入やソーラーパネル等の設置に対する補助を行うこと。

回答 今年度実施する再生可能エネルギー導入検討事業のなかで、検討する。

提言 各区公民館、中小企業のコロナウイルス除去の空気清浄機購入に対して補助を行うこと。

回答 各区公民館には、コロナウイルス対策に係る備品購入費の補助を行う。中小企業にはすでに実施している。

提言 温泉施設、施設園芸等ハウス栽培農家の光熱費の補助、介護施設や障がい者施設等に対し、原油価格、物価高騰対策としての補助を行うこと。

回答 原油価格・物価高騰の影響を受けたことが顕著であり、収入等に一定の影響があれば、支援金の対象として検討する。

提言 駅前に基山町全体の大型案内板の設置をすること。

回答 すでに設置しているが、今回基山駅から「基肄城」等への案内板設置や日本遺産「西の都」において交通アクセスなどの情報を提供する表示を設置する。

提言 子育て世帯へプレミアム商品券を給付すること。

回答 国や県からの支援に加え、特に生活費の負担が大きくなっている世帯に対し、町独自にプレミアム商品券を支給する。

一般会計補正 1億9702万円追加 予算総額 79億6651万円

■ 主な事業 ■

補正予算の特徴は、原油価格や物価高騰に対する国のコロナ対応地方創生臨時交付金（6,780万円）支給による事業が主なものです。



基山町営キャンプ場

キャンプ場施設整備 事業費200万円

屋根付きの広場に調理ができるカウンターテーブルと天井を増築。備品としてテント、焚火台、キャリーワゴン、モバイルバッテリーなどを整備する。

子育て世帯に1万円給付金 事業費1527万円

0歳～18歳までの子育て世帯に1世帯1万円給付。ただし、ひとり親世帯、住民税非課税世帯は除く。

生活支援に1世帯2万円給付 事業費300万円

対象は、物価高騰を受け生活に困っている準要保護世帯、特別児童扶養手当受給世帯、5人以上の多子世帯。

プレミアム商品券給付 事業費1713万円

個人住民税非課税世帯のうち児童扶養手当受給世帯と一人暮らし高齢者世帯主に消費喚起型「得券2万2千円分」を支給する。

子育て世帯に一人あたり5万円 事業費910万円

物価の高騰の影響を受けている低所得者のひとり親・ふたり親の児童一人あたりに5万円。対象者は児童手当又は特別児童扶養手当の受給者で住民税均等割非課税の者。

公民館、中小企業を支援 事業費2037万円

各区公民館にコロナ感染症対策備品として5万円。原油・物価高騰の影響を受けた中小企業にエネルギー効率化事業やチャレンジ支援事業補助金。また中小企業、小規模事業者、農林事業者、介護施設、障がい者施設に補助金10万円支給。

甘木鉄道運行維持支援 90万円

原油価格高騰を受け経営がきびしくなっているため、公共交通サービスの維持負担金として支払う。

学校給食食材費補助 補助金137万円

物価高騰を受けている食材費について、保護者負担を抑えるため。

保育所等給食食材費補助 補助金91万円

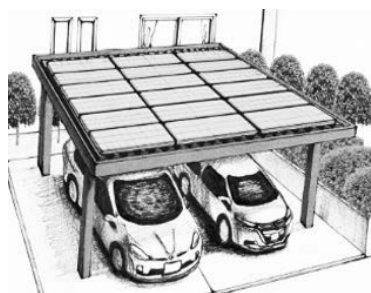
物価高騰を受けている食材費の保護者負担を抑えるために、増えた食材費の2%を上限に補助する。対象は町内のすべての保育施設。

高齢者情報格差解消実証実験 事業費200万円

インターネットを活用できない高齢者をなくすために、情報端末を個人や各区公民館などで無償貸与し、その利用方法を支援する。

電気自動車でCO₂削減 事業費1892万円

太陽光発電カーポート及び電気自動車2台、普通車・軽自動車2台を購入し、平日は庁用車、休日は町民に無料で貸し出して体験してもらう。



太陽光発電カーポート

脱炭素社会へ 電気自動車を購入

審査・調査
の担当課

総務課・企画政策課・財政課・税務課
まちづくり課・出納室・教育学習課

総務文教常任委員会

第2回定例会 議案審議

税条例等の一部を改正する
条例（専決処分）

問

土地に係る固定資産税の負担軽減措置と省エネ改修を行った住宅への固定資産税減税措置だが、省エネ改修対象者数と町民への周知度は。

答

活用者は少ない。更に周知を徹底する。

提案

対象者に対する広報、確定申告来庁者への周知、施行業者には省エネ住宅措置に関する情報の伝達を図ること。

一般会計補正予算

地域情報化整備委託料

200万円

問

タブレットを高齢者や各区公民館等に貸与、将来的に情報格差の解消

につなげるための実証実験との説明だが、委託先、対象者、使用期間等は。

答

通信事業者に委託、実施期間は2～4カ月程度。スマートフォンを持たない一人暮らしの高齢者が対象である。端末は無償提供し、期間終了後は回収する。

提案

情報弱者の生活の質の向上に寄与する事業であるので一定の成果を出すように。



みんなが情報を共有できる社会へ

二酸化炭素排出抑制事業（再生可能エネルギー発電設備、電気自動車の導入）

1892万円

問

平日には庁用車、休日は町民に貸出すとのことだが、その方法等は。

答

普通車、軽自動車を各一台購入する。使用料無料。1回につき最大3時間の貸し出しを予定。町民がスマートフォンでアプリをダウンロードすれば予約、利用当日のドアロック、解除、エンジン始動が可能。人を介さず電気自動車の体験ができる。災害時は避難所への電気供給を行う。

提案

町民への貸し出しは利用者のマナー、交通事故、利用規約等の運営管理、職員のトラブル対応等に課題が残る。導入までに最善策を構築し取り組むこと。



未来を担う電気自動車

参議院選挙ポスター掲示板
借上料 7万円

問

選挙全般に関して、ポスター掲示箇所や職員、立会人等の負担が大きい。適正であるか検討する必要があるのでは。

答

県・町の選挙管理委員会、地区代表者との協議が必要である。

提案

各関係機関と早急に協議し、改善するように。

生活困窮者へ プレミアム商品券

厚生産業常任委員会

審査、調査
の担当課

住民課・健康増進課・福祉課・こども課
産業振興課・定住促進課・建設課

第2回定例会 議案審議

下工4補第2号宝満川処理
区第2汚水幹線管路築造工
事(2工区) 請負契約
9240万円

問 工事箇所と内容はど
うか。

答 県道本郷基山線の県
境から西側の延長1
88mの区間で、推進工法を
用い、中央地点より東西2方
向に向けて掘り進める。

問 安全対策は十分か。

答 工事作業は交通量の
少ない夜間に行う。
主に地下での作業となり、発
信立坑がある場所の周辺10
m程度の通行規制で済むた
め、通行車両への支障は最小
限に抑えられる。

提案 夜間での長期工事で
あるため、交通安全対策や立
坑への落下防止など、安全対
策や気象状況も注視した工
程管理を行うこと。



下水道工事が始まる県道本郷基山線

一般会計補正予算

プレミアム付商品券給付事
業 1713万円

問 給付目的と対象者は
どうか。

答 コロナ禍において原
油価格や物価高騰の
影響などにより、生活費の負
担軽減を図るため、プレミア
ム商品券を支給する。支給
対象者は、基準日(令和4年
6月1日)において、令和4
年度住民税非課税世帯のう
ち一人暮らしの高齢者世帯、
児童扶養手当受給者世帯の
世帯主とする。

問 給付金額と給付予定
世帯数はどうなのか。

答 プレミアム付商品券
(金券2冊14000
円分及び銀券1冊6500
円分)、支給予定世帯は70
世帯を予定している。

問 商品券の選定につい
ては、生活困窮者支援
を考慮した場合、日常生活
品の購入が可能な消費喚起型
(得券)に変更した方が良い
のではないか。

答 庁内で協議・調整を行
い、消費喚起型(得券
2冊2万2000円分)に変
更して事業を実施してい
きたい。

提案 当該事業は議会の提
案を受けて立案し、内容につ
いても熟考を重ねたと思う
が、今後、同様の事業実施に
当たっては、事業目的に沿
った内容とすること。

おもてなし看板設置工事 412万円

問 看板の設置箇所と内
容は。

答 PR看板1カ所と案
内サイン4カ所を予
定している。PR看板は国
道3号の通行車両を対象と
し、三国境付近に設置予定で
ある。案内サインは、地図上
にルート案内等を記載した
ものを、JR基山駅に設置す
る。他の3カ所は、けやき台
入口交差点、役場南西のT字
路、基山登山口の丸林集落セ
ンター付近を考えている。

問 来町者の観光目的に
沿った案内内容にす
る必要があるのではないか。

答 関係各課と十分協議
し、来町者の目的に
沿った表記となるよう努め
ていきたい。

提案 PR看板は基山町の
魅力ある内容を表記するこ
と。案内サインは訪問目的
に沿った表記を検討し、QR
コード等の活用も視野に入
れた分かりやすい表記にな
るよう努めること。

一般質問

11人が町政を問う

一般質問とは、議員が町政について調査・研究した事柄を自由に質問することをいいます。

今回の一般質問は、平日の傍聴が難しい方のことも考慮し、6月4日（土）、5日（日）に休日議会として開催しました。

質問議員	質問事項	ページ
品川 義則	子育て支援対象世帯の個別訪問調査を	9
大久保 由美子	プラ製品のリサイクルを！	9
松石 健児	礎石群内の杉檜の伐採を	10
天本 勉	園部団地建替えの早期着手を	10
中村 絵理	土砂採取事業者への町の対応は？	11
末次 明	基肄城を国の特別史跡にふさわしく	11
大山 勝代	給食費が無償化されていない町は	12
河野 保久	教育プランの最重点項目は	12
松石 信男	補聴器購入に補助を	13
鳥飼 勝美	消防格納庫は町の管理で	13
栗野 久明	DXにより行政の業務効率化は	14

休日議会傍聴のご意見（アンケート）

お忙しい中での休日議会（一般質問）の傍聴ありがとうございました。

傍聴者数 56名

皆様方よりたくさんのご意見をいただき感謝申し上げます。多くのご意見の中から、一部掲載させていただきます。



ヤングケアラーについて、現在把握している件は0という事で安心しましたが、もっと細かく情報収集すれば、困っている子供がいるかもしれないので、今後、学校でも気をつけていく事を希望します。（60代 女性）

基山駅で基山に登る道がわからないと聞かれた。登山入り口（瀧光徳寺）までのバス路線を作ればよいと思います。（ここまで行くと登山口）（60代 女性）

「基肄城」の価値と魅力について行政の理解、思いがまだまだ不十分で答弁内容と実態は大きくかけ離れていると思います。行楽、遠足、ハイキングの山としての利用にとどまっている。町外、県外の人達からのダントツの全国区「基山の宝」をもっともっと大切にしたい。基肄城を町民の誇りとなるような町のバックアップを。（70代 男性）

身近な質問が多かった。今後も住みよい町づくりに努力して下さい。（70代 男性）

今回、けやき台に隣接する土砂採取事業について、とても心配していたので初めて傍聴しました。けやき台に住んでいますが、砂ぼこりが強風の日にはすごく飛んできます。これ以上土砂採取をすると、この先どうなるのかとても心配です。あの森林があつてのけやき台だったのに何でこんなことになってしまったのか、残念では済まされないです。（30代 女性）

相変わらず傍聴者は年配者ばかり。現役世代が関心を持つ様なアプローチや働きかけが必要と思う。（60代 男性）



問

子育て支援対象世帯の個別訪問調査を多大なコストがかかるのでできない



品川 義則 議員

問 子育て世帯で貧困世帯を把握しているか。

答 2017年に町内全ての子育て世帯の子ども生活実態調査を行った結果、収入が250万円の世帯が8・4%でした。

問 ひとり親世帯の貧困率は。

答 国民生活基礎調査では、子どもがいる現役世帯の貧困率は約12%、「大人が一人」の世帯の貧困率は約48%となっている。

基山町子ども生活実態調査では、ひとり親家庭の約63%が世帯収入250万円未満でした。

問 町の支援制度は申請主義。

また支援制度情報もホームページなどで一方的になっていないか。貧困世帯の情報格差が生じている。支援を必要としている世帯を把握することが重要なので、ひとり親世帯・多子世帯などの戸別訪問調査を実施してはどうか。

答 調査には多くの人手と経費が



子供の居場所「ここてらす」

かかるので行わない。

問 町内では子育てを支援している団体や個人が子ども食堂を開き活動しているが、町は連携を取ろうとしているのか。

答 町内で子どもへの食の支援を行っている団体や社協、区長会代表らで勉強会を行った。今後は各団体がそれぞれの取組の情報発信を行ったり、食材提供についてのやり取りで協力したり、横の連携が取れる協議会を組織していく。

問

プラスチック製品のリサイクルを！ 答 前向きに検討する



大久保 由美子 議員

問 これまでの、可燃ごみ減量の見直しは何か。

答 雑紙の出し方や、毎月1人当たりのごみの量を広報誌に掲載している。昨年は、ダンボールコンポストの講習会や基山町公式ラインに、ごみ・資源物の出し方の検索システムを導入した。

問 温室効果ガス削減に、可燃ごみ減量とリサイクル分別の推進は。

答 具体的な分別の周知や生ごみ処理機補助制度の継続、食品ロス削減と生ごみの水切り啓発。プラスチック分別の試験的な取り組みなど検討して進めていく。

問 「まぜればゴミ 分ければ資源」の標語を、庁舎、資源物回収ステーションや広報誌を活用してリサイクルの啓発ができないか。

答 資源物回収ステーションなどで標語のアピールに努めたい。



リサイクル啓発の標語

ヤングケアラーの把握と支援を

問 なぜ今、ヤングケアラーが問題となっているのか。

答 子どもたちが、家族の介護や世話で友人関係が希薄で孤立したり、進学や就職を断念せざるを得ないなど、さまざまな問題が深刻化している。

問 子どもも多くは、ヤングケアラーの言葉や意味を理解していない。情報を伝えアンケート調査ができないか。

答 認識や意識が低いと考えられる。啓発についてチラシや学校だよりで伝えるなど検討していく。



問 礎石群内の杉櫓の伐採を
答 計画を立てて進める



まつ
いし
けん
じ
松石健児 議員

基礎城整備と情報発信

問 基礎城跡保存整備基本計画の進捗状況は。

答 基礎城全体の案内サインや多目的トイレを設置し、駐車場としても活用できる「基礎城南門跡地広場」の整備を令和3年度に完了した。

問 礎石群内の杉櫓の伐採及び、各史跡付近に解説プレートなどの設置はできないか。

答 史跡地内に位置するため、文化庁の許可を得た上で進めていくよう計画を立てる。

問 基礎城水門跡の案内看板は町内随所にあるが、基山（きざん）登山口の案内看板・マップなどへの明記がほとんどない。

答 今年度、町内に3基の案内板を設置する予定。今後、表示内容を充実させたい。



礎石群を侵食する樹木

秋光川（第9区付近）の早期護岸復旧を

問 護岸ブロックの浸食が2カ所見られる。今後の対策は。

答 金網に碎石を詰めて設置した箇所は、護岸の洗掘防止のため実施された工事で本復旧されたものの。大型土のうなどを積み上げている部分は今後、本工事でコンクリートによる根継工事の本復旧を予定している。

問 園部団地建替えの早期着手を
答 建替事業実施計画を策定する



あま
もと
た
だ
ま
天本 勉 議員

問 現在の入居状況及び建替えに対する入居者の意向はどうか。

答 令和4年5月末時点の入居者は42世帯である。建替えに対する入居者の意向は、「新建替団地」15件「他の町営住宅」6件「民間住宅」3件「実家や施設等」3件「わからない」5件「引っ越したくない」10件となっている。

問 新耐震基準に適合しているのか。

答 園部団地は補強コンクリートブロック造による低層の壁式構造で建設されている。昭和56年6月に改正された建築基準法施行令では、この構造は改正されておらず「新耐震基準」を満たしていると考えている。

問 令和4年～6年度の「実施計画」に園部団地に関する項目がない。懸案事項だと思うが、担当課を含めた内部協議はしているか。

答 現在、民間賃貸住宅や他の町営住宅への移転を希望されている入居者の不安を解消すべく、個別に移転協議を進めている。

問 町が基本方針を示し、早期着手する必要があると思うがどうか。

答 今年度中には移転補償や家賃保証等の対応方針を策定し、入居者への十分な説明を行っていく。併せて、建替地、建替時期、事業手法等を示した「建替事業実施計画」を策定していきたい。



建設から50年を過ぎた園部団地



問

土砂採取事業者への町の対応は？
答 雨期の災害対応に万全を期す



なか
むら
え
り
中村 絵理 議員

問 けやき台に隣接した森林の土砂採取事業だが、町は住民の安心安全確保を図るための事前対応などは行ったのか。

答 所有者に周囲の住民や関係者への事前説明や安全配慮、安全確保をお願いしている。

的としている。お互いが矛盾しているのではない。今回の地区は居住誘導区域には入っていない。

答 矛盾はない。市街化調整区域の基本理念を変えるものではない。この計画は地域の町づくりに寄与することを目標としている。

問 事前の説明不足が多く、住民を混乱させた。今後、町が住民の安心安全を確保するためにすべきことは何か。

答 採取事業者が許可された内容による沈砂池・仮水路など、必要な施設の確実な設置及び維持管理が順守されているかの点検が必要である。

問 市街化調整区域は市街化を抑える区域である。この計画の上位計画である「立地適正化計画」は、市街化区域内に居住等の誘導を目



突然伐採された森林地区

基山町主導で保存整備を



問

基肄城を国の特別史跡にふさわしく
答 県にも協力を要請し推進



すえ
つぐ
あきら
末次 明 議員

問 基肄城跡は全国に63カ所しかない国の特別史跡であり町の宝町全体で重要性を認識し、国・県、周辺市町と連携し取り組め。

答 吉野ヶ里遺跡、名護屋城跡は、国家的プロジェクトとして県が事業化し整備を行っている。佐賀県初の特別史跡である基肄城跡も、他の2件と同様の扱いを行っていただくよう県に働きかけていく。福岡県が中心となって広域で展開している日本遺産「西の都」においても連携して見学者の受け入れ態勢の強化にも力を入れていきたい。

問 特別史跡基肄城跡保存整備基本計画の進捗状況は。

答 平成30年度に基本設計を行う予定だったが7月水害によって進捗が遅れている。水門跡の災害復旧については本年度中に取水口の復旧工事を行う。治山ダムの進捗

を
確
認
し
な
が
ら
次
年
以
降
の
基
本
設
計
を
行
い
前
期
計
画
を
進
め
て
い
く。



基肄かたろう会の活動

大礎石群や東北門の整備は？

問 保存整備計画を見ると礎石群や各城門の整備後のイメージ図が描かれている。計画通りに実現していたきたい。今後の可能性は。

答 基本設計後、実施計画、工事と着実に進めていきたい。予定箇所も、どの箇所から優先して行うかなど、基肄城跡保存整備委員会の意見を聞きながら決めていきたい。大礎石群の周辺立木伐採も前倒し検討案に加えていく。

を
確
認
し
な
が
ら
次
年
以
降
の
基
本
設
計
を
行
い
前
期
計
画
を
進
め
て
い
く。



問 給食費が無償化されていない町は
答 県内10町のうち基山町と有田町



おおやまかつよ
大山勝代 議員

問 学校給食費の助成を行う自治体が増えている。佐賀県10町のうち段階的なものも含めて、無償化していない町はどこか。

答 基山町と有田町の2町。

問 基山町が無償化するための財源はいくらかかるか。

答 1人あたり小学校で年間4万9500円、中学校で5万8300円。総額年間7千万円弱が必要になる。

問 基山町より財政が豊かでない町の多くが実施している。財政力が3位と高い本町でできない理由は何か。

答 本町ではほかの市町がしていない子育て支援策をいくつか行っている。

問 完全実施でなくても段階的にでも補助できないか。

答 給食費の助成については精査・検討を行い、施策の優先順位



おいしい給食「いただきます」

を判断していきたい。

地域での女性リーダーの育成を

問 基山町には女性の区長・区長代理が一人もいない。これは各地域が主体的に決めて運営するもので、行政への一般質問は馴染まないと思うが、問題提起としたい。

答 男女共同参画プランでは女性の区長・区長代理の目標は設定していない。各種審議会等の委員は女性の参画率を30%に定めている。今後、男女の意識改革を進め、環境づくりに取り組んでいく。



問 教育プランの最重点項目は
答 生きる力を育む学校教育の充実



こうのやすひさ
河野保久 議員

問 令和3年より教育プランのダイジェスト版を作成しているが成果は上がっているか。

答 今年度は配布の時期もできるだけ早急にして、町民会館・図書館・憩いの家などにも置いて自由に読んでいただく取り組みも始めた。教育プランに対する理解や関心は以前よりも高まっているのではないかと感じている。

問 教育プランに示されている6つの施策の中で最も力を入れているとしたいと考えている施策は。

答 生きる力を育む学校教育の充実ではGIGAスクールの構想をさらに推進していきたい。

問 教育環境の充実ではどのような。

答 若基小の中庭の人工芝化・基山小の職員増に伴う職員室の改修を進めること。併せて学校図書館のバーコード導入によるデジタル

化を推進していきたい。

問 多彩な文化芸術の推進は。

答 きやま創作劇の公演を、できる限り、以前のような形に戻していくように努力していきたい。

問 教育プランの中で、令和4年度における最重点項目とする施策は。

答 今年度も「生きる力を育む学校教育の充実」が最重点項目となる、学力向上・心の教育の充実、体力の向上などプランに挙げている施策にしっかりと取り組んでいく。



小規模特認校 若基小学校

答 難聴になると認知症につながる。そこで自分に合った補聴器を装着することで予防に効果がある。

問 補聴器購入が進まないのは経済的な負担が大きいことが要因だ。高齢者の「聞こえの支援」を行うために購入に対する補助を。補助の検討を進める。

問 高齢者にとって難聴は身近な問題。難聴になると、家庭でも社会的にも孤立し、引きこもりになりがちで、認知症につながることで心配されているが補聴器の有用性とは何か。



高齢者の補聴器

問 補聴器購入に補助を
答 補助の検討を進める



松石信男
まついし のぶ お
議員

意思決定の場に女性が少ない

問 コロナ禍で女性が仕事を失くし生活が困窮しており、子育て世帯の貧困の広がり、DV被害の急増、女性の自殺者の増加率が男性の5倍、子どもや少女たちへの虐待、性被害が急増している。ジェンダーギャップ指数では156カ国の中で日本は120位と大変低い。ジェンダー平等についての見解は。

答 お母さんは子育て、家事が当たり前、お父さんはそういうことをするとおかしいという見方ではなく、家事でも男女の差別なく役割分担することが必要だと考える。

問 基山町の各種審議会の中で女性委員が占める割合が令和2年度では県平均33・8％に対し26・5％と低い。

答 令和4年は29・4%になっており、今後人数が増えるように努める。

問 消防格納庫は町の管理で

答 町にも管理責任がある。



鳥飼勝美
議員

問 消防格納庫の管理責任は町にあると認識しているのか。

答 消防団活動で使用される格納庫は、町にも管理責任がある。

問 消防格納庫の土地、建物を町に移管し、町が管理すべきでは。

答 消防団の再編を検討する中で、消防施設の移管について協議する。

問 町が管理すると、格納庫の建設などは、国の補助などの対象になるが。

答
今後検討する。

消防団の再編が必要ではないか

問 消防各部の団員1人当たり人口は最小で第3部33人、最大で第1部260人で実に八倍の格差がある、是正すべきである。

答 今後、再編について検討する。

問 現在の消防団八部制を、統合して五部制に再編できないか。



町が管理すべき消防格納庫

答 今後、早い時期に町議会と協議していく。

消防団員の確保策はあるのか

問 少子高齢化による、消防団員の確保策について対策はあるのか。

答 消防団勧誘員を設置して、募集チラシを配布する。

問 団員確保について、町内企業に協力の要請はしないのか。

答 今後検討する。



問 DXにより行政の業務効率化は
答 効率化により町民サービスを向上



くわのひさあき
栗野久明 議員

問 デジタル技術活用（DX）の目標は。

答 行政の業務効率化により、町民サービスのさらなる向上につながると思っている。

問 行政のDX推進の現状は。

答 既にいくつかの事業に取り組み、成果が得られている。

問 文科省ではコンピュータを使用した試験方式（CBT）による全国学力・学習調査の準備を進めているが、環境の整備はどう考えるか。

答 中学校は令和7年度以降に導入される予定で対応できるよう早め準備を進めたい。

自治会活動での課題は

問 町から自治会・町民への連絡はどのような手段がとられているか。

答 区長宛ての文書の送付、区長会や団体長連絡会の開催時に説明

し、内容は各区の運営委員会で報告され、区長から文書で各世帯に回覧する形がとられている。



各戸に回る回覧板

問 月2回全戸に配布される広報紙のほか、回覧板による地域の情報連絡は重要であり、その作成業務の多くを区長が担っている。

町は、連絡に漏れがないよう、一枚紙に完結にまとめた連絡表を発行し、一目で周知できるよう協力願いたい。

答 どのような形が最善であるか今後検討させていただきたい。

意見書等の結果

基山町の公益に関する事柄について、国会や関係行政庁に対して議会の議決に基づき意見書を提出することができます。詳しくは事務局にお尋ねください。

区 分	件 名	内 容（概略）	結 果
意見書	教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	1 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また豊かな学びや学校の働き方改革を実現するため、更なる少人数学級の推進や加配教員の増員等、教職員の定数改善を推進すること。 2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に引き上げること。	採択 (全員賛成)
陳情書	女性トイレの維持及びその安心安全の確保についての陳情	労働安全衛生規則第628条及び事務所衛生基準規則第17条所定の事業所トイレにおける大原則である「男性用と女性用に区別して設けること」を今後とも崩さず、女性トイレをすべからく維持し、女性の安心安全という権利法益を守るべく諸方策をとること。	全議員に 配布
	国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	わが国と海との歴史的、文化的および経済・社会的な関わりならびに海の日制定の歴史的経緯等を踏まえ、国民が海の大切さを理解し、その恩恵に感謝し、海の安全および環境保全について思いを馳せる機会とするためにも、「海の日」を当初の7月20日に固定化すること。	全議員に 配布
	沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	1 沖縄を「捨て石」にした差別的な安全保障政策をやめること。 2 辺野古新基地建設を断念すること。 3 普天間基地は「本土」に引き取り、日本全体で問題解決すること。	全議員に 配布

子ども議会を開催

コロナ禍で2年間中止していた子ども議会を10月1日に開催します。



6月10日基山中学校で行った説明会の様子

選任に同意した委員（敬称略）

基山町固定資産評価審査委員会委員

おおぐし のりみつ
大串 法光（宮浦）



任期：令和4年7月1日から
令和7年6月30日まで

おishi きよたか
尾石 清孝（けやき台）



任期：令和4年7月1日から
令和5年8月21日まで

令和4年 第3回基山町議会定例会 会期の予定

9月5日（月）～22日（木）

一般質問 9月6日（火）～8日（木）

議会を傍聴してみませんか。多くの皆さまの傍聴をお待ちしております。

※この会期日程等は、状況により変更することがあります。

議長交際費執行状況表（令和4年度 4月～6月）

支出種別	支出金額(円)	支出の相手方および行事名等	
御祝	5,000	4/14 大興善寺契園つつじ開園式	
御祝	4,373	5/26 基山モール商店街協同組合第39回通常総会	
合計件数(件)	合計額(円)	累計件数(件)	累計額(円)
2	9,373	2	9,373

委員長 桑野 久明
副委員長 松石 信男
委員 末次 明
委員 中村 絵理
委員 大久保由美子
委員 天本 勉

広報広聴常任委員会



小松地区の田園風景

6月議会は、仕事などで傍聴できない方に配慮して、休日一般質問を行い、多くの方に傍聴いただきました。

また、コロナ禍で一般質問は、3役と質問に関わる担当課長のみ出席して行っていました。久しぶりに執行部全員が揃い、従来の態勢で開催ができました。

このまま収束へ向い、マスクを外して笑顔で話せる日を待ちわびるこの頃です。

（大久保由美子）

休日議会によせて

編集後記

所管事務調査

総務文教常任委員会

ゼロカーボンシティ宣言

基山町は令和元年に環境基本条例を策定し、今年2月にゼロカーボンシティ宣言を表明した。



自然豊かな基山町

環境保全に理解を

今年2月に策定した「環境基本計画」について説明を受けた。今、基山町の「自分の町は自分たちの手できれいに」という良さが失われつつある。町がやるべきことを明確にし、町民や町内事業者を求めることを広報するように提案した。



基山（きざん）山頂に自生するオキナグサ

「2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す」とことは国も推奨していることであるが、きれいな環境にはコストもかかる。社会変化に対応しながら美しい基山を未来に残すには町民の皆さんの理解と協力が必要となる。

所管事務調査

厚生産業常任委員会



今後改良される高速道路東側

三国・丸林線の完成は

平成28年から総事業費7億2900万円で計画されている事業は、基山PA上り線南側交差点から東側国道3号線交差点までの延長430mの区間、標準幅員10・5mの内容で施工され、令和7年3月に完了予定となっている。

今年度以降の工事は

高速道路ボックスからJR鹿兒島本線三国踏切方向へ水路の切替えを含み、公共交通広場・

三国踏切の改良が行われる。

公共交通広場の利活用は

コミュニティバスの乗降や送迎用車両の一時的利用を含め、新たに駐輪場も設置する。

委員会からの提案

改良工事実施中の交通安全対策は請負業者と協議し、安全な事業遂行に努めること。
事業の完成後は、公共交通広場の不法駐車防止や駐輪場、トンネル内での犯罪防止のために防犯カメラの設置を実施するよう提案した。



現地で説明を受ける委員会